

建設予定地 (Vatuwaqa 地区)



前方の約半分の敷地が予定地で現在はフットボールの練習場として使われている。



敷地前面のゴルフリンク道路から南方面 (スヴァア市内) を見る



ゴルフリンク道路側から敷地西面を見る



ゴルフリンク道路から北方面を見る



ゴルフリンク道路からの敷地入口現況

敷地写真

略語集

略称	語	総 称	和文名称
AusAID	英	Australian Agency for International Development	豪州国際協力庁
BED	英	Business & Essential Drug Branch	保健省必須医薬品部
BPS	英	Bulk Purchase Scheme	大量一括購入計画
CWM	英	Colonial War Memorial Hospital	植民地戦争記念病院
FEA	英	Fiji Electric Authority	フィジー電力公社
FPS	英	Fiji Pharmaceutical Services	フィジー医薬品局
FPSC	英	Fiji Pharmaceutical Services Center	フィジー医薬品供給センター
IRA	英	Inspectorate & Regulatory Affairs Branch	保健省審査・規制関連部
JBPS	英	Joint Bulk Purchase Scheme	(周辺島嶼国)共同大量一括購入計画
MOH	英	Ministry of Health	保健省
NGO	英	Non Governmental Organization	民間非営利団体
NFA	英	National Fire Authority	消防局
PIC	英	Pacific Island Countries	太平洋島嶼国
PWD	英	Public Works Department	公共事業局
SIS	英	Small Island States	(太平洋)島嶼国家
SS	英	Safety Stock	安全在庫量
TGA	英	Therapeutic Goods Administration	豪州保健省薬務局
UNICEF	英	United Nations Children's Fund	国連児童基金
USP	英	University of South Pacific	南太平洋大学
WHO	英	World Health Organization	世界保健機関
WPRO	英	Western Pacific Regional Office	(WHO)西太平洋地域事務局

要 約

要 約

フィジー諸島共和国（以下、フィジー国）は南太平洋の中央部（南緯 15 度～22 度、東経 174 度～西経 177 度）メラネシアに属し、約 330 の島から成る島嶼国家で、太平洋島嶼国の交通・物流の拠点国家である。1997 年の全人口は 77 万 3 千人である。全人口の約 75% がヴィティレヴ島に住み、首都スヴァの人口は約 7 万 5 千人である。70 万 km^2 という広大な海域面積に比べ、陸地面積は日本の四国とほぼ同じ 18,300 km^2 に過ぎず、首都スヴァのあるヴィティレヴ島（面積 10,430 km^2 ）とヴァヌアレヴ島（面積約 5,560 km^2 ）が総面積の 90% を占めている。気候は熱帯性気候で、共和国を構成する島々は主に火山島と珊瑚礁に分類される。前者は起伏が激しく海拔 1,000m 級の山も見られるのに対し、後者は概して平坦である。

フィジー経済を支えているのは砂糖及び観光産業であるが、80 年代末から進められてきた外資導入政策がアパレル等製造業の発展をもたらすなど、同国の産業基盤は徐々に拡大してきた。国民 1 人あたり GNP は 2460 米ドル（2000 年）であるが、砂糖生産や観光は国際価格、自然災害、政情不安等の外的要因の影響を受けやすく、GDP 成長率は一進一退を繰り返しており、経済基盤は磐石とは言えない。また、人口の総数を 2 分しているフィジー系とインド系は政治的、経済的に対立を繰り返し、2000 年 5 月には武装グループによる国会の占拠・人質事件があり、当時の大統領が辞任した。本年 9 月に総選挙が実施されたが、今後の経済的影響は避けられない。

このような状況下、保健省は国家開発戦略（Development Strategy for Fiji：1997 年）及び国家保健計画（National Health Plan：1998～2002 年）の方針に従い、保健行政改革プロジェクト（Fiji Health Management Reform Project：1999～2004 年）を推進している。同プロジェクトにおいて本案件の責任機関である保健省医薬品局は、フィジー国の必須医薬品を適正価格で安定的に供給する医薬品サービスを向上させる責務が明示されている。実施機関である医薬品供給センターに対する具体的施策は、医薬品に加え現在個々の医療機関で個別に購入されている歯科や検査試薬等の消耗品の購入についても同センターへ一極化しようとするものとなっている。

フィジー国をはじめとした太平洋島嶼国は国内で使用する医薬品や医療消耗品を輸入によってまかなっている。しかしながら、人口規模が小さいこと、離島であるという地理的条件、輸送手段の不備などを背景に、医薬品購入において割高な価格体系を強いられるとともに安定的な供給にも大きな問題を抱えている。島嶼国が安価な医薬品を入手する手段として世界保健機関（WHO）が共同購入を長年にわたり推奨してきたことから、1995 年、フィジー国のヤヌカ島で開催された島嶼国保健大臣会合で、医薬品の共同購入がかかる問題を解決する一つの方策であることが共通認識として確認され（ヤヌカ島宣言）、引き続き 1998 年にはフィジー国を含む 7 つの島嶼国が同様にフィジー国を拠点とする「医薬品共同大量購入計画」（Joint Bulk Purchasing Scheme、以下 JBPS）をとりまとめた（ラロトンガ協定）。フィジー国保健省の医薬品供給センターが JBPS の拠点とされ、現在までに 5 ヶ国（トゥヴァル、ナウル、キリ

バス、クック諸島、ヴァヌアツ)の購入実績がある。

今年(2001年)の4月にはフィジー国で参加国の枠をさらに広げた JBPS のワークショップが行われ、フィジー、トゥヴァル、クック諸島、トケラウ、マーシャル諸島、ナウル、キリバス、ヴァヌアツの 8 カ国が参加し、JBPS の拡大、推進に向けた具体的合意を得るための方法について話し合われた。

フィジー医薬品局は、国内公的医療機関に対し医薬品、医療用小器具類、リネン類、X線検査消耗品などを無償で供給するほか、低価格で国内民間医療機関(薬局業者、卸業者などを含む)への医薬品販売及び JBPS による周辺太平洋島嶼国への医薬品販売業務を行っている。現在、同局は医薬品保管倉庫をスヴァ港近くに所有している。当倉庫は、医薬品保管機能の他、同局の行政部門もおかれ、事務所としての機能も有し、医薬品供給センターと称されている。

しかしながら、現医薬品倉庫は施設の老朽化による漏水の危険性、過大な積み重ね、不十分な温度管理、荷おろし・一時保管スペースの不足等、医薬品保管において劣悪な環境となっている。さらに、非効率的な薬品管理による、ロット管理/在庫管理の不備を招いており、供給医薬品の品質低下を助長している。また、保管スペースの不足から、現倉庫近くのワルー湾に補完倉庫を借用しており、二施設への分散化は作業効率の低下にもつながっている。

本プロジェクトの目的は、倉庫機能・事務機能を有する新医薬品供給センターを新しい敷地に移転建設することにより、フィジー国内の公的医療機関と民間医療機関(薬局業者、卸業者などを含む)及び周辺の太平洋島嶼国に対し医薬品が安定供給される体制を整備する事にある。

JBPS による太平洋島嶼国への「低価格」で「安全性と信頼性」を備えた医薬品の「安定供給」を目指す計画は先に述べた WHO 支援のヤヌカ島宣言(1995年)、ラロトンガ協定(1997年)に続き 2001 年 4 月のワークショップにても推進する事が確認されている。

フィジー国は、国内のみならず太平洋島嶼国にも裨益する本計画を実施するにあたり、必要とする資金の不足から、我が国に新医薬品供給センター建設と機材の調達の無償資金協力を要請してきた。これを受け、国際協力事業団は基本設計調査の実施を決定し、2001 年 3 月 8 日から 4 月 12 日までの基本設計調査、同年 10 月 7 日から 11 月 22 日まで基本設計概要説明調査を行った。

新医薬品供給センターの右調査にもとづき、基本設計の基本方針として以下の点が確認された。

- (1) 将来の人口増加や太平洋島嶼国における JBPS 推進にともなう供給先国の増加に対応できるよう配慮しつつ、過大にならないよう、保管規模を適正に算定する。
- (2) コンピュータ化による医薬品物流管理の情報一元化を行う。
- (3) 保管部は防塵性と断熱性を備えた医薬品保管環境を計画する。
- (4) 維持管理費を極力押えた計画とする(換気と空調の設備等)。
- (5) 計画施設はフィジー人の体格を考慮して余裕のある計画とする。

(6) 多雨、高温多湿、サイクロンの来襲等の自然環境を考慮した施設計画とする。

計画内容を以下の表 1 に示す。

表 1. 計画内容

規 模 鉄骨構造		主な施設内容	主な機材
1 階	4,374 m ²	倉庫部門 パレクストア、コールドストア等 荷捌部門 入荷場、出荷場、仕分場 その他 入荷・出荷事務室、守衛室、機械設備室等	トラック、電動フォークリフト パワーハンドリフト 移動式ローラーコンベア 薬品冷蔵庫、台車 籠車、ピッキングカート、 コンピュータシステム
2 階	830 m ²	管理事務諸室、会議室、資料室、コンピュータ・ サーバー室、ロッカールーム	コンピュータシステム、 TV/VTR セット等
合計	5,204 m ²		
ソフトコンポーネント		コンピュータベースの「物流運営管理指導」および「在庫管理ソフト開発」	

相手国側の当初要請には、新医薬品供給センターに医薬品品質検査機能を加える計画も含まれていたが、検査受入体制が不十分である事、オーストラリアに検査を依頼している現状の方法で十分信頼性が確保されると判断されることから、この要請を削除することとし、以上のような協力が最適案であると判断される。

本計画を日本の無償資金協力で実施する場合、全体工期は実施設計、工事発注・入札、建設工事・機材調達、ソフトコンポーネントを含め 26 ヶ月が必要とされる。また、概算事業費は、日本側 10.93 億円、フィジー国側 0.12 億円が見込まれる。

本計画の実施により、医薬品保管施設におけるスペース不足、老朽化による漏水の危険性、不適切な温度管理等の問題が解消され、医薬品保管環境の改善がはかられる。また、「物流運営管理指導」と「在庫管理ソフト開発」のソフトコンポーネント実施を含む適正なコンピュータ管理システムの導入により、現医薬品センターで問題となっている不適切なロット管理及び在庫管理体制が改善される。この結果、保管医薬品の有効期限切れなど管理ミスが減少し、安定的な医薬品在庫が確保される。

その結果、国内における医薬品供給体制はもとより、JBPS の質的・量的拡大により、太平洋島嶼国における「低価格」で「安全性と信頼性」を備えた医薬品の「安定供給」体制が整備され、ひいては、フィジー国および太平洋島嶼国において良質な医療活動が実施され、これら諸国の保健医療状況が向上することが期待される。

ただし、上記効果が継続的に得られるためには、太平洋島嶼国における新医薬品供給センターを通じた医薬品取扱量が拡大することが前提であり、現在 WHO の支援のもと続けられている JBPS に関する定期的な話し合いが引き続き行われるよう提言する。

目 次

序文

伝達状

位置図/透視図/写真

略語集

要約

第 1 章	要請の背景	1
1-1	要請の背景	1
1-2	要請の内容	3
1-2-1	当初の要請内容	3
1-2-2	基本設計調査における要請内容の変更	3
第 2 章	プロジェクトの周辺状況	5
2-1	当該セクターの開発計画	5
2-1-1	上位計画	5
2-1-2	財政事情	8
2-2	他の援助国、国際機関の動き	8
2-3	我が国の援助実施状況	9
2-4	プロジェクト・サイトの状況	10
2-4-1	自然条件	10
2-4-2	社会基盤整備状況	11
2-4-3	既存施設・機材の状況	12
2-5	環境への影響	13
第 3 章	プロジェクトの内容	14
3-1	プロジェクトの目的	14
3-1-1	新 FPSC の位置付けと役割	14
3-1-2	フィジー国での役割	15
3-1-3	太平洋島嶼国に対する役割	15
3-2	プロジェクトの基本構想	17
3-2-1	基本方針	17
3-2-2	建設予定地	17
3-2-3	施設の基本構想	19
3-2-4	医薬品物流計画	19
3-2-5	機材計画の基本構想	39
3-2-6	ソフトコンポーネントの基本構想	43
3-3	基本設計	44
3-3-1	設計方針	44
3-3-2	基本計画	47
3-4	プロジェクトの実施体制	83
3-4-1	組織	83
3-4-2	FPS の運営予算	84
3-4-3	要員・技術レベル	85

第 4 章	事業計画	86
4-1	施工計画	86
4-1-1	施工方針	86
4-1-2	施工上の留意点	88
4-1-3	施工区分	89
4-1-4	施工監理計画	90
4-1-5	資機材調達計画	92
4-1-6	ソフトコンポーネント	93
4-1-7	実施工程表	93
4-2	概算事業費	95
4-2-1	概算事業費	95
4-2-2	維持・管理計画	96
第 5 章	プロジェクトの評価と提言	104
5-1	妥当性にかかわる検証及び成果と裨益効果の評価	104
5-2	技術協力・他ドナーとの連携	106
5-3	課題と提言	107

添付資料

1. 調査団員氏名、所属
2. 調査日程
3. 相手国関係者リスト
4. 協議議事録
5. 当該国の社会・経済事情
6. 事業事前評価表
7. 取扱医薬品リスト
8. 自然条件調査結果
9. 視察関連施設概要
10. 現況写真